



2026年第2四半期 決算説明会

株式会社ブリヂストン

取締役

代表執行役 Global CEO

森田 泰博

常務役員 CFO

菱沼 直樹

2026年8月7日

2026年事業計画

経営方針

強いビジネス体質を継承しつつ、**質を伴った成長**ステージへ着実に移行
成長基盤を確立し、創立100周年-2031年までに**世界No.1奪回**

重点課題

魅力的な商品とモノづくり



グローバルポートフォリオ



ブランド



2026年通期 連結業績予想

(単位：億円)

2026年通期予想

前年比増減 (%)

売上収益

45,000

+2

調整後営業利益

5,150

+4

利益率

11.4%

+0.3pp

2026年第2四半期累計 連結業績総括

■ 対前年：増収増益 — 成長軌道へ移行 —

(単位：億円)		2026年 第2四半期 累計実績	前年比増減 (%)	前年比増減 (%) (除く為替)
売上収益	過去最高	23,217	+ 10	+ 2
調整後営業利益	過去最高	2,809	+ 20	+ 11
利益率		12.1%	+ 1.0pp	+ 1.0pp
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		2,062	+ 79	—
為替レート	USDドル	158円	—	—
	ユーロ	185円	—	—

※ 売上収益、調整後営業利益は、「継続事業」のみの金額・数値を表示しております。

- 緩慢な需要環境下、各事業体での不断の努力により
主要市場・財にて**拡売・シェアアップを達成**
- **売値・MIX良化を伴った販売量増**による増収となり
質を伴った成長ステージへの移行が着実に進行
- 中東情勢や米国関税等によるコスト上昇影響あるも、
再編・再構築効果や継続的な原価低減活動等により
利益額、利益率ともに改善
 - 中東情勢によるコスト増：
第2四半期累計 2月計画比 70億円
 - 米国関税影響：
第2四半期累計 前年比 250億円（計画並）

26年通期見込：2月対外発表から変更なし

- 中東情勢影響での下期コスト増見込：600億円強
- 原価増を中心に厳しい事業環境が想定されるが、
様々な施策の組み合わせにより、2月計画達成を目指す

2026年第2四半期累計 連結業績総括：主要エリア別

米州（北米＋南米）

売上収益 **11,353** 億円 前年比 **111%**

調整後営業利益 **1,030** 億円 前年比 **112%**

増収増益 北米：PSマルチブランド戦略、TBタイヤ・ソリューション事業堅調に推移
南米：黒字確保－調整後営業利益 対前年＋12億円の改善

欧州

売上収益 **3,938** 億円 前年比 **114%**

調整後営業利益 **325** 億円 前年比 **253%**

増収増益 TB事業の再編・再構築によるコスト最適化、
PS-REP拡売シェアアップと小売事業改善など収益力継続改善

アジア・大洋州・インド・中国

売上収益 **2,780** 億円 前年比 **113%**

調整後営業利益 **310** 億円 前年比 **106%**

増収増益 インド：市販用タイヤ（PS / TB）拡売、着実な成長
中国：PS-OEにて拡売、成長の基盤を強化

日本

売上収益 **6,344** 億円 前年比 **105%**

調整後営業利益 **1,139** 億円 前年比 **138%**

増収増益 日本でのPS新商品FINESSA発売などによる拡売、
超大型ORタイヤ販売堅調など、着実な成長を推進

重点課題取り組み状況：魅力的な商品とモノづくり

※新商品数：グローバル合計
※販売本数：グローバル市販用、前年比



乗用車用
タイヤ

小型トラック・
バス用タイヤ含む

2026年
事業計画 新商品数：25以上 販売本数：101~105%※

2026年
上期実績 商品数：18 販売本数：102%※

北
米

ULTRAWEATHER™

ツーリング領域のスノーフレーク※マーク付き
オールシーズンタイヤ (2026年6月発売)



※スリーピーク
マウンテン
スノーフレーク
(3PMSE)

FIREHAWK™
INDY 500 V2™

ウルトラハイパフォーマンスサマータイヤ
(2026年1月発売)



ブ
ラ
ジ
ル

TURANZA 6

快適性と安定性を追求したツーリングタイヤ
(2026年3月発売)



日
本

**POTENZA
RE-71RZ**

ストリートラジアル史上最速を追求した
スポーツタイヤ (2026年2月発売)



FINESSA HB01

安心・快適を提供する新スタンダードタイヤ
(2026年2月発売)



BLIZZAK ICEPEAK

スタッドレス領域の旗艦商品
(2026年9月発売予定)



トラック・バス用
タイヤ

日
本

ダブルリキョーマルキュー

W909

V-STEEL STUDLESS W909

トラック・バス用スタッドレスタイヤ
(2026年9月発売予定)



多
角
化
事
業
化
工
品

OPTIFY



水素充填ホース (2026年7月発売)



ゴルフクラブ アイアン (2026年9月発売予定)

B-FORGED
100CB
200CB+

重点課題取り組み状況：ポートフォリオマネジメント

- 24中計 事業ポートフォリオ強化策を推進中。質を伴った成長体質確立に向け、2026年も着実に足場固めを進める
2026年上期：各ポートフォリオにて着実に成長軌道へ移行

調整後営業利益伸長INDEX 2026年上期実績（2025年上期=100）

事業別		×	財別（タイヤ・ソリューション）		×	セグメント（地域）別	
タイヤ	コア事業	115	PS/LT	118		米州	112
ソリューション	成長事業	134	TB	124		EMEA	185
化工品・多角化		112	Specialties	120		APIC	106
						日本	138

- 単品販売からソリューションカンパニーへと進化し他社との差別化、強固な収益力基盤を構築
- 課題である化工品・多角化事業において、対前年増益を達成一改善施策を継続強化

- 再編・再構築、リトレッド等ソリューション拡充で、従来から強いTB事業基盤をさらに強化
- PS/LTでのマルチブランド戦略、Specialtiesは更なる商品・サービス力強化で成長を推進

- 最大市場である米州事業で着実に成長
- 欧州事業は、再編・再構築効果もあり、対前年 大幅改善
- 収益の柱であるOR事業を含む日本セグメントでも着実に成長

重点課題取り組み状況：ブランド力強化

■ モータースポーツ活動推進



国内モータースポーツ活動推進



FIM 世界耐久選手権 (EWC)
鈴鹿8時間耐久ロードレース (7月)
ブリヂストンタイヤ装着チームが19連覇、表彰台独占



SUPER GT：GT500/GT300両クラスヘタイヤ供給
2026年 第4戦まで両クラスでブリヂストンタイヤ装着チームが
チームランキングリード中



NTT INDYCAR® SERIES The Indianapolis 500 第110回レース (5月)



- 観客約35万人／
視聴者 約600万人
- ファイアストンブランドでの
独占タイヤサプライヤー
- レース史上最も僅差の
フィニッシュで決着
- ブランドキャンペーン展開、
新商品と連動し、
米国マルチブランド戦略に貢献

■ ブランド力強化に向けた企業広告拡大施策の推進

企業広告拡大 (日本)



ファイアストン 125周年活動 (米国)



Since 1900



財務・業績詳細

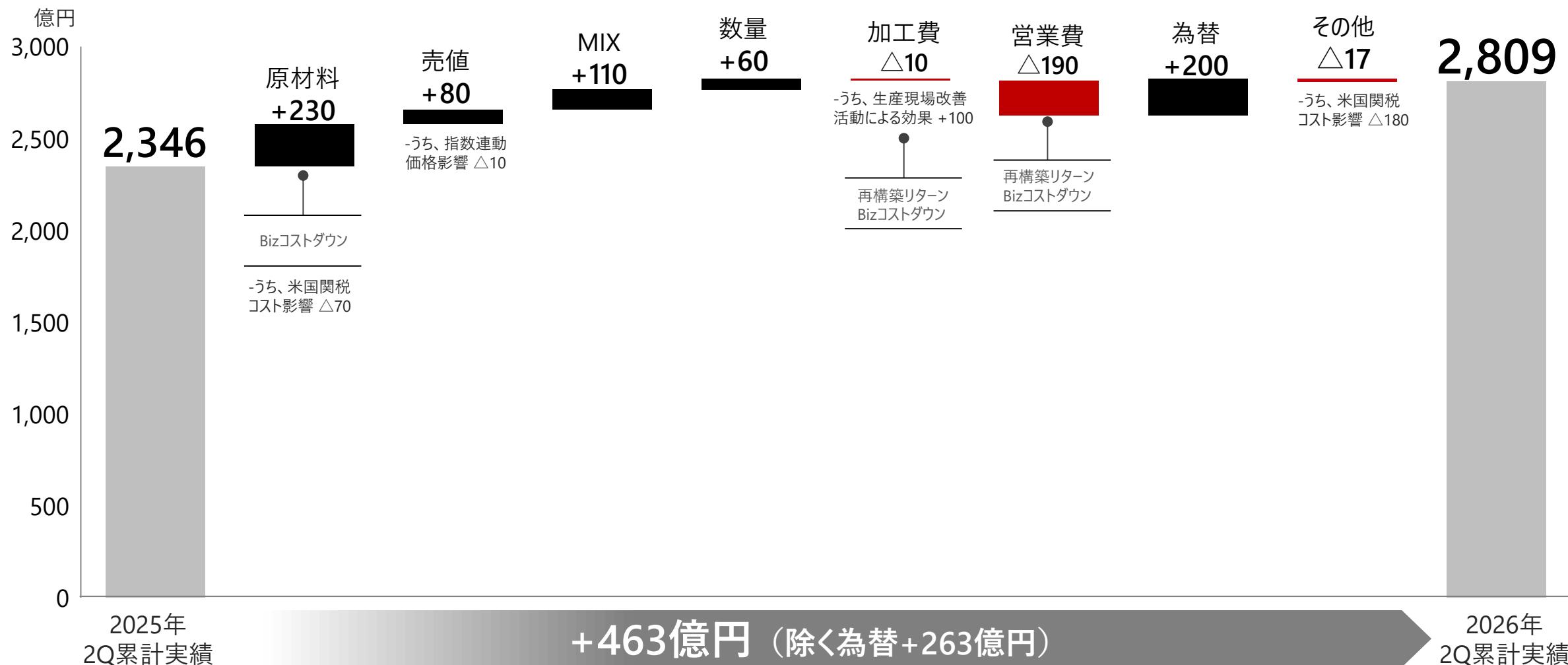
2026年第2四半期累計 連結業績

(単位：億円)

		2025年 第2四半期 累計実績					2026年 第2四半期 累計実績	前年比増減 (%)
			第1四半期	前年比増減 (%)	第2四半期	前年比増減 (%)		
売上収益		21,164	11,134	+ 5	12,082	+ 14	23,217	+ 10
調整後営業利益		2,346	1,222	+ 10	1,587	+ 29	2,809	+ 20
利益率		11.1%	11.0%	+ 0.4pp	13.1%	+ 1.5pp	12.1%	+ 1.0pp
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		1,155	921	+ 21	1,141	+ 188	2,062	+ 79
為替レート	USDドル	148円	157円	—	160円	—	158円	—
	ユーロ	162円	184円	—	185円	—	185円	—

※ 売上収益、調整後営業利益は、「継続事業」のみの金額・数値を表示しております。

2026年第2四半期累計 調整後営業利益増減要因：前年差



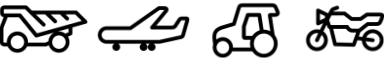
2026年第2四半期累計 セグメント別業績

(単位：億円)

		2025年 第2四半期累計実績	2026年 第2四半期累計実績	前年比増減 (%)	
日本	売上収益	6,037	6,344	+5	為替円安に加え、原材料良化、市販用タイヤの販売増、売値・MIX改善が増収増益に貢献。特に新商品FINESSAの販売好調。
	調整後営業利益	825	1,139	+38	
	利益率	13.7%	17.9%	+4.3pp	
アジア・大洋州・ インド・中国	売上収益	2,468	2,780	+13	1Qに引き続きPS/TB共に販売が対前年で伸長し、増収。 - リーンの経費マネジメント、再編・再構築効果は継続し、増益。前年の一過性項目の影響を除けば、対前年で利益率改善。
	調整後営業利益	292	310	+6	
	利益率	11.8%	11.2%	△0.7pp	
米州	売上収益	10,259	11,353	+11	- 北米：需要が前年を下回る中、市販用新商品やマルチブランド戦略が貢献し、2Qも市販用にてPS/TB共に需要を上回る販売を達成。 (対前年) PS 市販用需要92 販売97 TB 市販用需要88 販売99 小売事業のサービス収入拡大も増収増益へ寄与。 - 南米：黒字継続。厳しい事業環境下、体質改善や販売強化に取り組む。
	調整後営業利益	918	1,030	+12	
	利益率	8.9%	9.1%	+0.1pp	
欧州・中近東・ アフリカ	売上収益	4,113	4,585	+11	- 欧州での高インチタイヤを中心としたプレミアムタイヤの増販継続。再編・再構築効果も着実に発現し、増収増益、利益率向上。 - 中東情勢の影響により中近東での売上・利益は対前年減少（連結業績への影響は軽微）。
	調整後営業利益	185	341	+85	
	利益率	4.5%	7.4%	+3.0pp	

2026年第2四半期累計 財別業績

(単位：億円)

		2025年 第2四半期累計実績	2026年 第2四半期累計実績	前年比増減 (%)	
 PS/LT (小売・クレジットカード事業を含む)	売上収益	11,777	13,061	+11	- 高インチタイヤ等のプレミアムタイヤの拡販、MIX改善継続。 - 北米では市販用タイヤの需要が減少する中でもシェアアップ達成。 - 小売事業の収益性改善。
	調整後営業利益	1,241	1,470	+18	
	利益率	10.5%	11.3%	+0.7pp	
 TB (リトレッド事業を含む)	売上収益	4,852	5,229	+8	2Q販売は新車用・市販用共に前年を上回り、再編・再構築等による体質改善効果もあり前年比で増収増益、利益率も改善。 - 北米では市販用タイヤの需要が減少する中でもシェアアップ達成、新車用タイヤの販売増も増収増益に寄与。
	調整後営業利益	409	507	+24	
	利益率	8.4%	9.7%	+1.2pp	
 Specialties (OR/AC/AG/MC)	売上収益	3,101	3,436	+11	- 鉱山用の超大型ORタイヤが対前年で販売伸長。 - 原材料良化、為替による増益等もあり、高い収益性を継続。
	調整後営業利益	657	789	+20	
	利益率	21.2%	22.9%	+1.8pp	
 化工品・多角化事業	売上収益	1,434	1,490	+4	地道な改善を継続、事業体質改善を実現。
	調整後営業利益	39	43	+12	
	利益率	2.7%	2.9%	+0.2pp	

2026年第2四半期累計 事業ポートフォリオ別業績

タイヤ事業

コア事業

前年比
増減(%)

売上収益 15,364億円 +10

調整後
営業利益 2,169億円 +15

利益率 14.1% +0.6pp

売上収益構成比

63%

グローバル計

前年比
増減(%)

売上収益 23,217億円 +10

調整後
営業利益 2,809億円 +20

利益率 12.1% +1.0pp

売上収益構成比

6%

※連結消去等の関係で、事業別売上収益の
単純合計が全社売上収益と一致しない
※構成比は、事業別売上収益の単純合計より計算

■ コア事業—タイヤ事業：増収増益。利益率14%へ回復

■ 成長事業—生産財系BtoBソリューション：増収増益

売上+13%成長、AOP額+52%成長、AOP率13%強を達成

小売：増収増益、収益性継続改善

ソリューション事業

成長事業

前年比
増減(%)

※ソリューション事業に小売タイヤを含む

売上収益 7,356億円 +9

調整後
営業利益 614億円 +34

利益率 8.3% +1.6pp

売上収益構成比

30%

化工品・多角化事業

前年比
増減(%)

売上収益 1,490億円 +4

調整後
営業利益 43億円 +12

利益率 2.9% +0.2pp

モビリティテック事業

戦略事業

小売サービス

※北米金融小売を含む

前年比
増減(%)

売上収益 5,452億円 +8

調整後
営業利益 358億円 +24

利益率 6.6% +0.9pp

生産財系 BtoBソリューション

前年比
増減(%)

売上収益 1,904億円 +13

調整後
営業利益 256億円 +52

利益率 13.4% +3.4pp

2026年第2四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

(単位：億円)

	2025年期末実績	2026年第2四半期期末実績	対前年末
資産合計	57,477	59,030	+ 1,552
現金及び現金同等物 (月商比)	7,138 (1.9ヵ月)	7,917 (2.0ヵ月)	+ 779 (+ 0.1ヵ月)
棚卸資産	8,855	9,352	+ 498 △616※1
商品及び製品	5,647	6,052	+ 406
負債合計	20,278	20,642	+ 364
有利子負債〈グロス〉	8,270	8,998	+ 728
資本合計	37,199	38,387	+ 1,188
親会社所有者帰属持分比率	63.7%	64.1%	+ 0.4pp
CCC (Cash Conversion Cycle)	171日	172日	+ 1日 △6日※1
期末為替レート	USD/円 157円	162円	+ 5円
	ユーロ 184円	185円	+ 1円
	2025年第2四半期累計実績	2026年第2四半期累計実績	対前年同期
営業CF	2,791	3,418	+ 627
投資CF	△ 1,209	△ 1,203	+ 6
フリーCF	1,582	2,215	+ 633
設備投資	1,379	1,298	△ 81
減価償却費及び償却費	1,762	1,835	+ 73

資本政策（財務活動） 26年2月対外発表

- 企業価値向上に資する投資、最適資本構成（資本効率化）に向けた施策として、**1,500億円**を上限とする**自己株式の取得を実施予定**
- 業界トップ水準の格付けを維持しつつ、最適資本構成の構築とWACC低減による企業価値向上（ROIC-WACCスプレッド拡大）に資する施策の一環として、普通社債等にて**1,500億円の資金調達予定**

自己株式の取得、負債の活用を着実に推進

負債の活用（資金調達）

□ 1,500億円の資金調達完了

自己株式取得

□ 7月末時点金額ベース進捗率：約87%

※1 対前年同期、除く為替

2026年通期 連結業績見通し

(単位：億円)

	2025年通期実績	2026年通期予想 (‘26/2/16発表)	前年比増減 (%)
売上収益	44,295	45,000	+ 2
調整後営業利益	4,937	5,150	+ 4
利益率	11.1%	11.4%	+ 0.3pp
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,273	3,400	+ 4
1株当たり配当金	115円	125円	+ 10円

※ 売上収益、調整後営業利益は、「継続事業」のみの金額・数値を表示しております。

通期業績見通し：2月対外発表数値から変更なし

- 上期業績は計画対比で上振れて着地したものの、下期は中東情勢に伴う原材料等コスト上昇影響の顕在化により、計画対比下振れを見込む。様々な対策に取り組み、通期では期初計画の達成を目指す。
- 中東情勢に伴うコスト上昇影響試算：600億円強／下期、約700億円／年間



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。

Appendix

相場動向（平均価格）推移

	2025年				2026年	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
天然ゴム 〈TSR20〉※1（¢/kg）	197	168	170	173	191	218
天然ゴム 〈RSS#3〉※1（¢/kg）	240	221	219	206	229	278
原油 〈WTI〉（\$/bbl）	71	64	65	59	73	93

※1 Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

2026年第2四半期累計 タイヤ需要（本数 対前年）

当社推定値	PSR/LTR（乗用車/ライトトラック用）		TBR（トラック・バス用）	
	OE（新車用）	REP（市販用）	OE（新車用）	REP（市販用）
日本	104%	102%	106%	91%
北米	100%	92% ^{※2}	87%	88% ^{※2}
欧州	99%	101%	106%	106%

※2 メンバー需要：米国・カナダのタイヤ製造者協会※3に参加するタイヤブランド（除く輸入品）
全体需要（Non Memberの需要を含む）は次の通り。PSR/LTR REP：95% TBR REP：87%
※3 USTMA (U.S. Tire Manufacturers Association) + TRAC (Tire Rubber Association of Canada)

2026年第2四半期累計 タイヤ販売（本数 対前年）

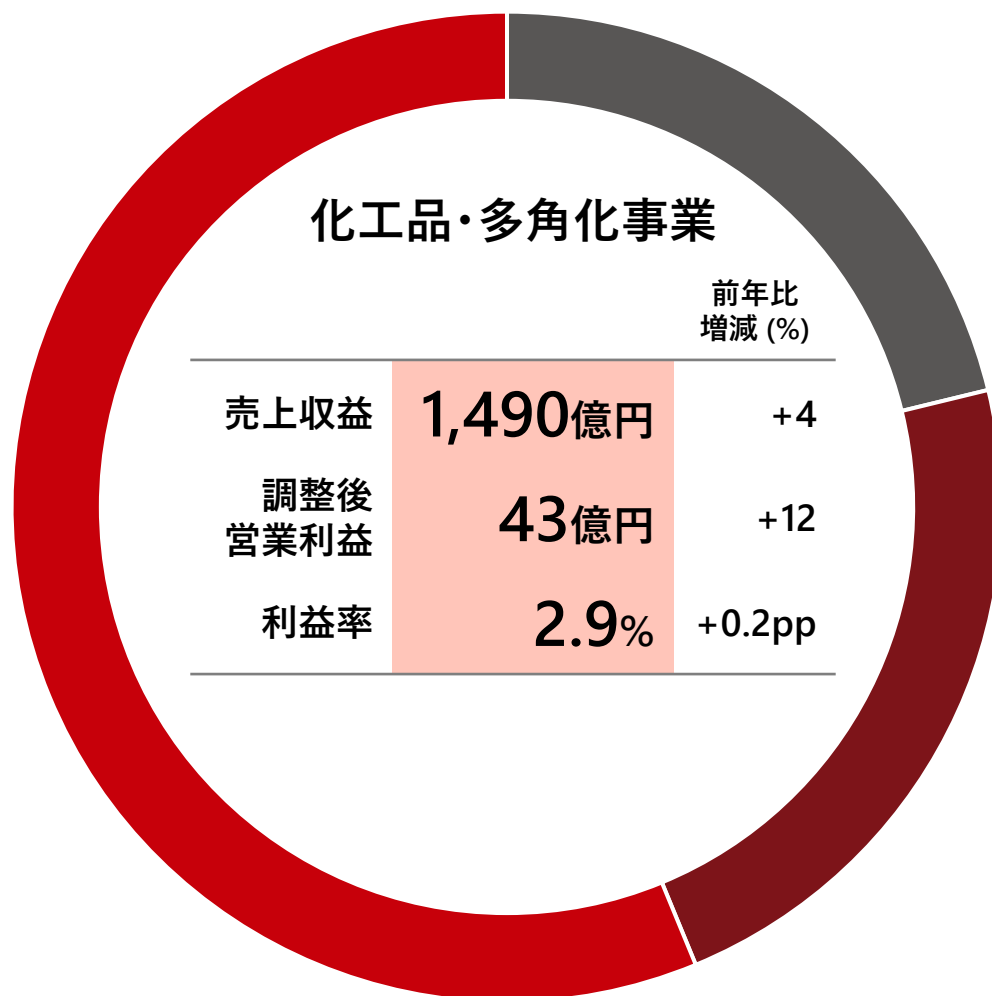
	 PSR/LTR		 TBR	
	対前年		対前年	
グローバル (OE+REP)	102%		98%	
	OE（新車用）	REP（市販用）	OE（新車用）	REP（市販用）
グローバル	101%	102%	98%	99%
日本	101%	105%	99%	93%
アジア・大洋州・インド・中国	102%	103%	116%	106%
北米	108%	97%	106%	99%
欧州	99%	108%	78%	99%

	  PSR/LTR 18インチ以上		 ORR	
	対前年		対前年	
グローバル(OE+REP)	106%		超大型	102%
REP	105%		大型	86%
			中小型	103%

※TBRについては、中国を除外した数値を記載しております。

2026年第2四半期累計 化工品・多角化事業 事業別業績

化工品事業		前年比 増減(%)
売上収益	822億円	+6
調整後 営業利益	43億円	+27
利益率	5.2%	+0.8pp



化工品・多角化事業		前年比 増減(%)
売上収益	1,490億円	+4
調整後 営業利益	43億円	+12
利益率	2.9%	+0.2pp

スポーツ・サイクル事業		前年比 増減(%)
売上収益	310億円	△1
調整後 営業利益	△6億円	-
利益率	△1.8%	+0.6pp

米州多角化事業 (空気バネ)		前年比 増減(%)
売上収益	330億円	+3
調整後 営業利益	7億円	△49
利益率	2.1%	△2.2pp



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。